

平成28年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		<b>交通等バリアフリーの推進</b>					所管	都市づくり部 地区整備課
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	83	計画事業名	バリアフリーの推進			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進						
		[小 柱] (2) 快適で利用しやすいまちづくり						
		[施 策] ②だれもが利用しやすいまちづくり						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
	事業対象	高齢者、障害者及び施設利用者等						
	事業目的	台東区バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障害のある方等の移動の円滑化を促進する。						
	事業内容	バリアフリー協議会（関係事業者、住民、高齢者、障害者等で構成）の検討を経て策定した基本構想に基づき、各事業者による特定事業計画の事業を実施することにより、重点整備地区内のバリアフリー化を促進していく。特定事業計画の進捗管理を実施し、事業の進捗状況を確認するとともに、必要に応じて計画の見直しを行う。						
委託の有無	一部委託	委託内容	バリアフリーマップ維持管理					
補助金の有無	なし							
<b>事務事業の実績</b>	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	基本構想策定済み地区数	(地区)	1	1	1	1	
		バリアフリー協議会開催数	(回)	5	3	1	4	
	成果指標	公共交通特定事業の進捗率	(%)	80.0	40.5	46.3	55.7	
		車椅子の自立移動可能な鉄道駅数	(駅)	21	16	20	21	
	決算額	(単位：千円)			3,686	1,879	685	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			22,156	14,452	14,436	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			3,686	1,841	653	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			0	38	32	
		総経費			25,842	16,331	15,121	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
	その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0		
	一般財源（区負担額）			25,842	16,331	15,121		
前回評価から改善した事項	26年度にバリアフリーマップ(ウェブ)の作成委託を行い、27年度よりバリアフリーマップの運用を開始した。マップを通じて区内の施設や道路のバリアフリー情報を提供することにより、区民や来訪者の利便性向上を図った。							
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由						
	必要性	4	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、これまで以上にバリアフリー化の重要度が高まっており、整備を推進していくことが引き続き求められている。					
	効率性	3	基本構想の推進に係る連絡調整を行うための場として協議会を開催することにより、関係機関及び利用者間の協議・調整や、合意形成の円滑化・効率的な運営を行っている。					
	手段の適切性	3	事業実施までの期間にわたる継続的な進行管理が必要となるが、公共交通、道路、都市公園、建築物、交通安全など事業内容が多いことから、業務委託も行いながらバリアフリーを推進していく必要がある。					
目的達成度	4	特定事業の進捗率は順調に目標を達成している。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）								
基本構想に基づき、特定事業計画作成や事業実施～完了までの継続的な進行管理が必要となる。今後は、バリアフリー化の内容が特定事業計画の整備方針に沿って適切に行われているか、また、予定の期間内に実施されているかなどを把握し進捗管理を行っていく必要がある。								
<b>評価結果</b>	今後の方向性	維持						
		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了						